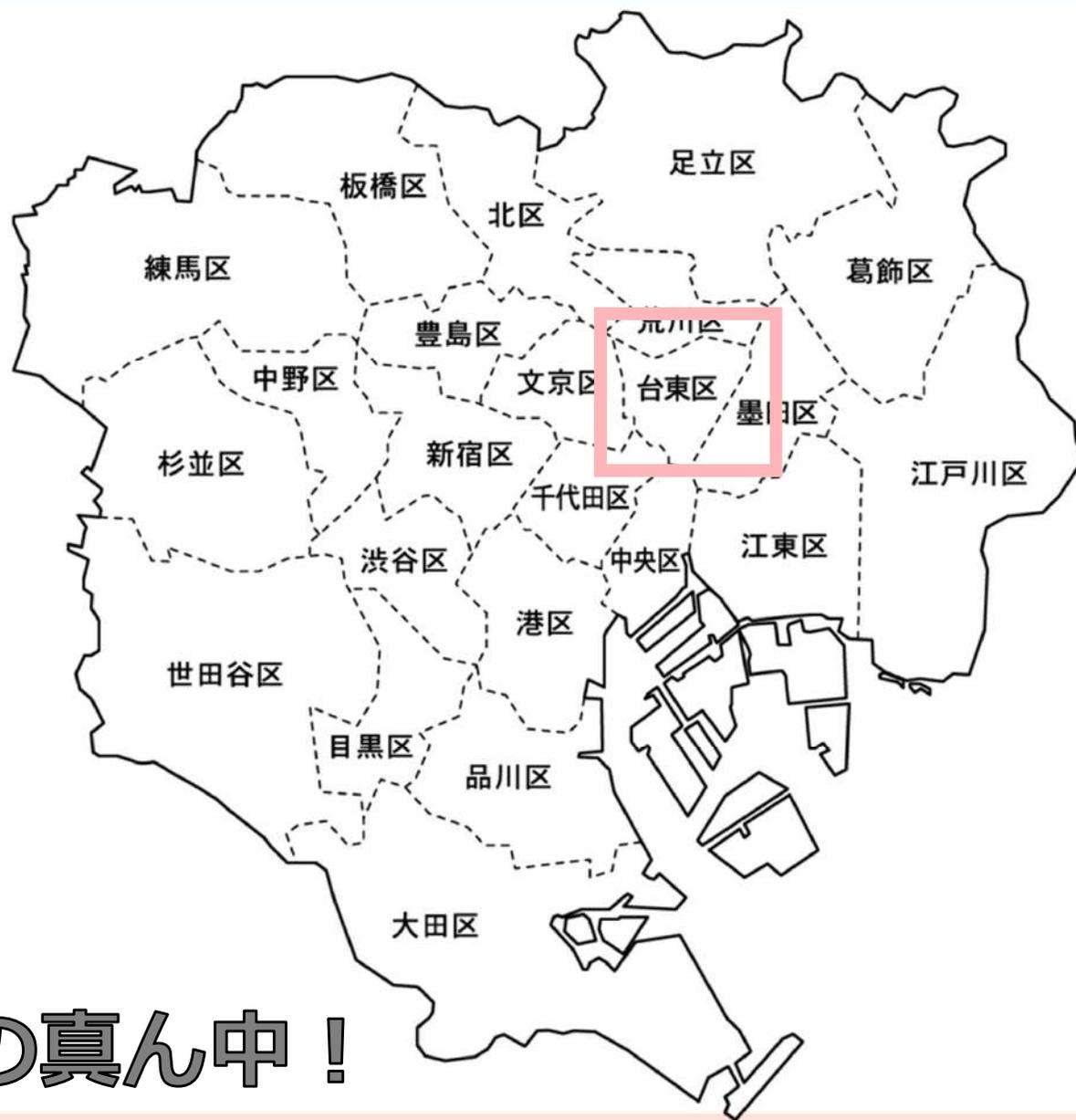


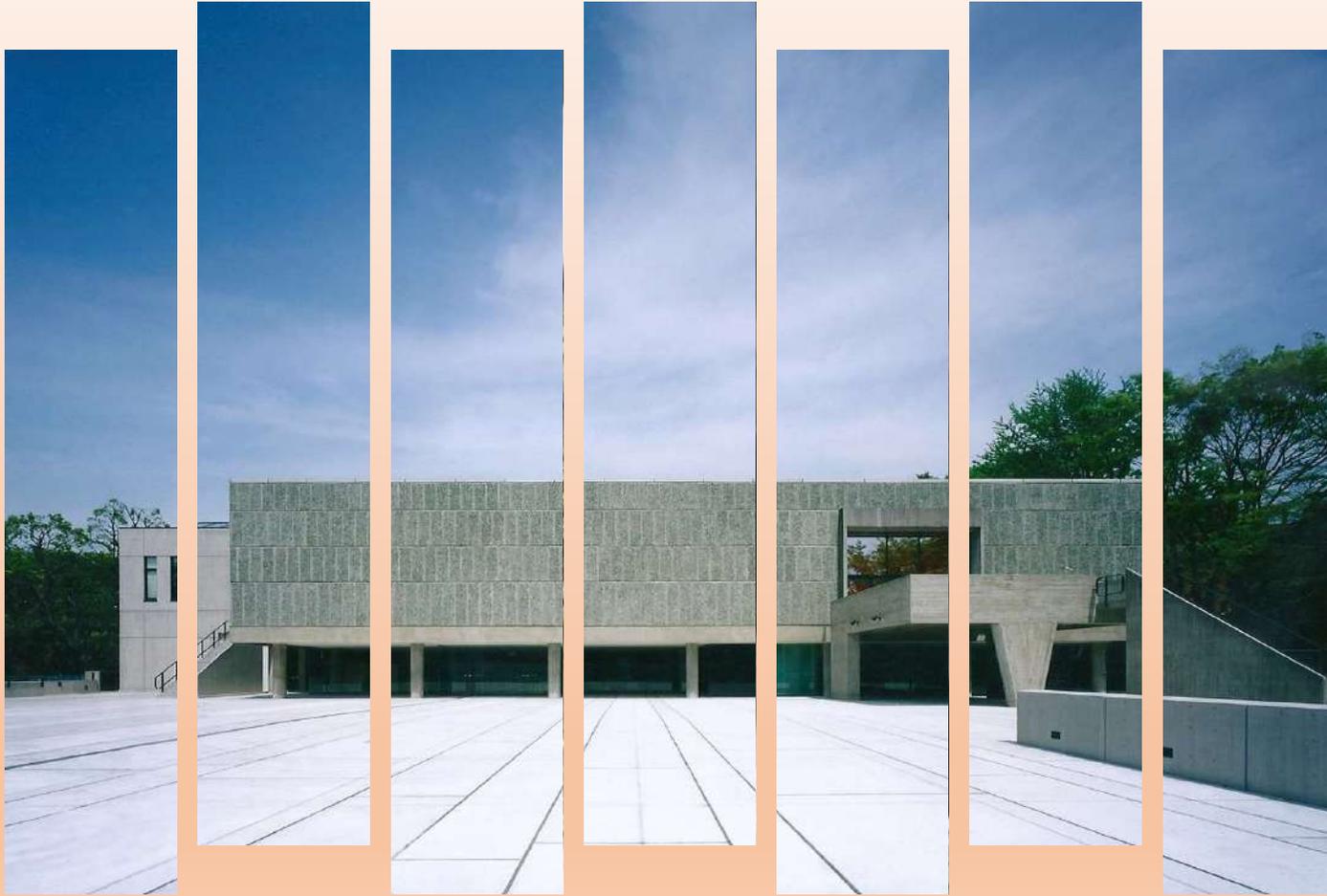
01

台東區立台東病院 老人保健施設千束

台東区



東京23区の真ん中！



文化

藝術

自然

施設概要

02



ミッション

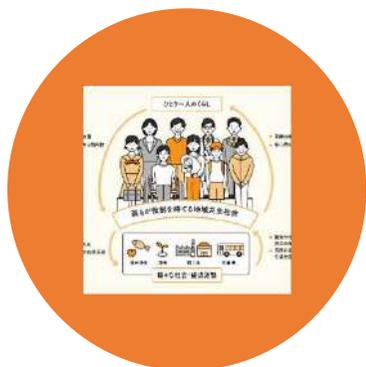


台東病院・老健千東では、台東区の方が **台東区に住んでいてよかった** と思えるように、また、
終生、**安心して台東区で暮らせるよう** に、地域の医療機関や介護事業者と連携しながら、医
療・福祉のサービスを提供します。

ビジョン

- **高齢者医療に力をいれます。**
高齢者の皆さんの健康問題のすべてに対応していきます。
- **在宅医療を支援します**
地域の皆さんが病院医療や施設ケアが必要になったときにその場を提供し、また在宅へ復帰できるようにサポートします。
- **まずは受け入れるという姿勢を持ちます（総合診療）**
いつでもまず受け入れる、そして必要に応じて他の医療機関へ紹介します。
- **地域と連携してサービスを提供します**
台東区の医療機関チームの一員として力を発揮します。
- **恵まれない地域の医療支援を行います。**

当施設の3つの柱



地域包括ケアシステム

地域共生社会



人材育成



ヘルスプロモーション

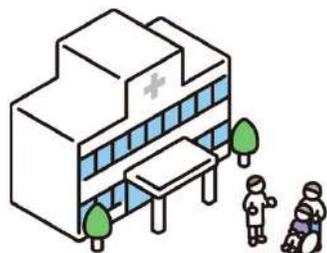
リハビリテーション室

03



『ずっとこの街で暮らし続けたい』を応援します

病院



急性期：40床

回復期：40床

療 養：40床

老健



一 般：100床

認知症専門：50床

在宅



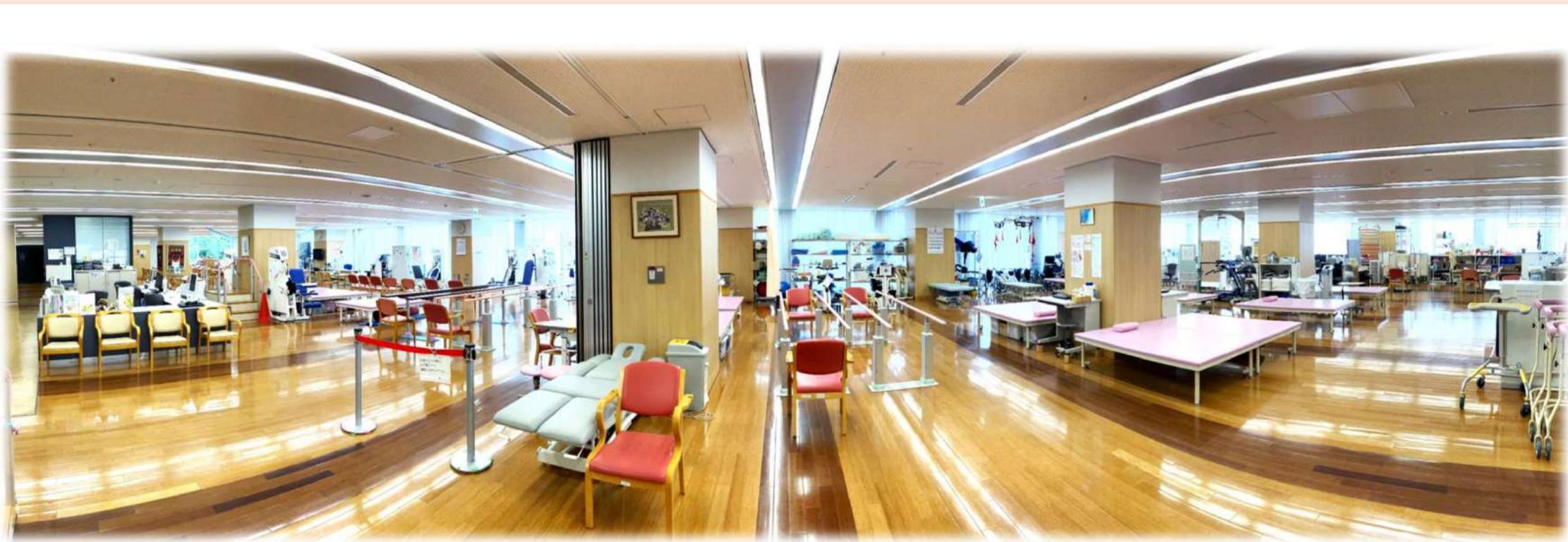
通所リハビリテーション

訪問リハビリテーション

訪問看護

居宅支援事業所

病院・老健・通所リハビリテーションが同一フロア



約1,000m²

充実したリハビリテーション機器



- 免荷式歩行リフトPOPO
- 電気刺激装置IVES

- レッドコード
- 評価用長下肢装具

- 嚥下造影検査 (VF)
 - パワーリハビリテーション
- その他多数

リハビリテーション室 理念

リハビリテーション室では
「つながり」を大切にします。



リハビリテーション室 基本方針

私たちは地域で働く職種と連携を図り、文化をふまえたリハビリテーションを提供します。

私たちは医師・看護師や他職種との連携を図り、チームで患者様を支えます。

私たちは患者様の家族を支援し、不安軽減を行います。

私たちは患者様の人生のつながりや今までの人生を理解し、新たな生活の構築をお手伝いします。

私たちはリハビリテーションに関する最新の知識・技術を取り入れ、患者様や他職種に提供します。

リハビリテーション室 行動目標

- 医療人・社会人としての倫理観を持ち、その責任を果たす
- 自らの成長のため、目標を掲げ挑戦する
- 他職種や地域と協働して、リハビリテーションを行う
- 職員が誇りと思いやりを持って働ける、職場づくりをする
- 後進の育成・指導を積極的に行う



理学療法士 20名



作業療法士 20名



言語聴覚士 5名

リハビリテーション医：非常勤

**※病院・老健・通所・訪問を
専任または兼務しています。**

スタッフ数



2025.4 現在

04

地域包括ケア 地域共生社会

急性期から在宅まで一貫 したリハビリテーション



地域に根ざした リハビリテーション



例えば・・・



近くのスーパーまで買い物の練習



自宅での調理練習

小笠原村 リハビリテーション支援



小笠原村と連携し、島の患者様を受け入れています。

05

人材育成

リハ職・リハ医を交えた症例検討会



多職種連携研修



- 東京都立大学・東京大学等
- 厚生労働科学研究

研究・大学院進学

海外留学制度/海外からの来日



- University of Indonesia
- Semyung University
- Mahidol University

- Karolinska Institutet
- Thomas Jefferson University
- Oregon Health Sciences University

06

ヘルスプロモーション

病院祭



認知症カフェ 喫茶YOU



日時 : 毎月第3土曜日
(現在は隔月開催)

場所 : 病院エントランス

参加費 : 無料

対象者 : 地域の人なら誰でも

医療機関連携型

行政との連携 CATV用の動画 (フレイル予防)



たいてうりハ散歩

～リハビリテーション職と身近な公園を運動巡り～

PART 1

多様な専門職連携

例えば



今日を愛する。

LION

台東区



台東区立台東病院
台東区立老人保健施設千束



介護福祉士



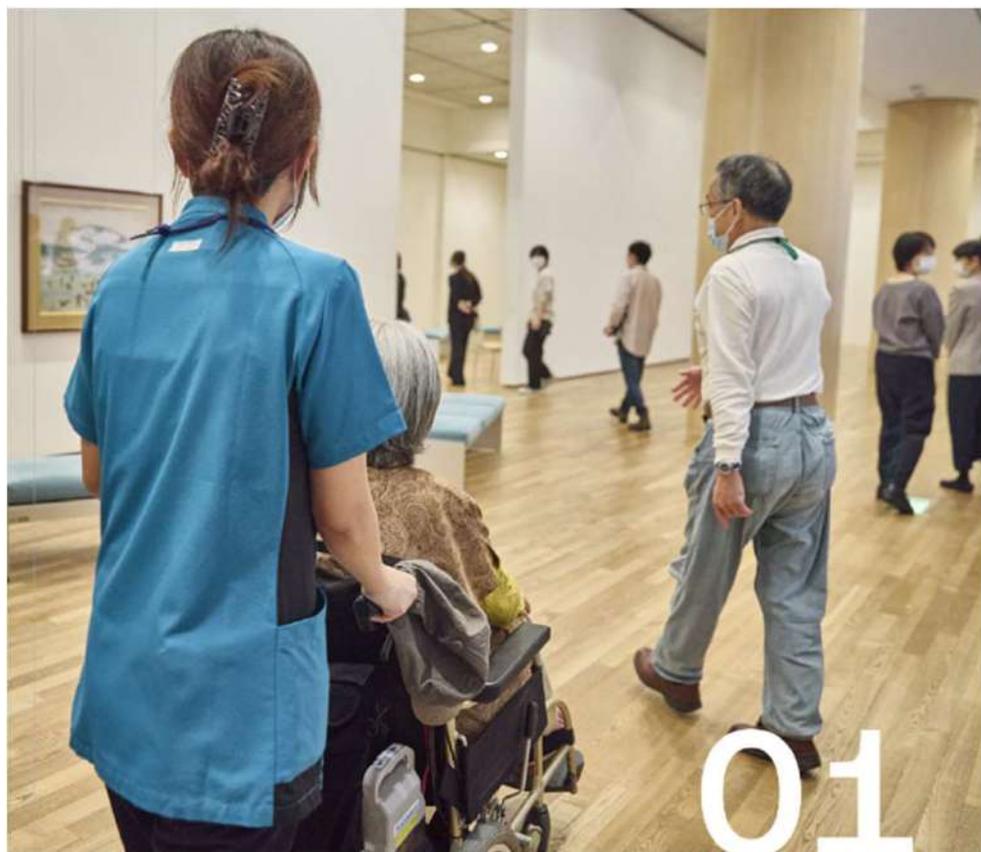
管理栄養士



言語聴覚士

etc

美術館との連携



01

Creative Ageing ずっとび ずっとび鑑賞会



「ずっとび鑑賞会」(2023年)写真:中島信雄

認知症の気になる方とその家族を対象とした鑑賞会です。美術館で作品を介して、さまざまな「つながり」と「コミュニケーション」が生まれるような機会を目指しています。

参加者は、美術館で作品をじっくり鑑賞したり展示室を散策したりしながら、おしゃべりをします。

一緒に鑑賞するのは、東京都美術館×東京藝術大学 とびらプロジェクトで活動しているアート・コミュニケータ(愛称:とびラー)。参加者が安心して鑑賞できるよう、家族でも介助者でもないフラットな立場で参加者に寄り添います。

医療福祉スタッフも見守り、安心・安全な鑑賞環境で行います。認知症当事者だけでなく家族にとっても美術館という非日常的な体験をすることで、ふだん見られない家族の関係性が生まれることもあります。

東京藝術大学大学美術館を会場とした「ずっとび鑑賞会」は、会場を貸し切って実施しています。通常の展覧会よりも低い位置に作品を展示することで、参加者は作品の前に設置したベンチや椅子に座り、とびラーと対話をしながら、ゆっくりと作品を鑑賞することができます。



ホームページ

<https://taito.jadecom.or.jp>



施設紹介動画



Instagram



療法士の1日



施設見学・オンライン説明 問い合わせ先

【電話】

03-3876-1001

「リハビリテーション就職説明希望」とお伝えください。

【メール】

担当 楠本：naokik@jadecom.jp